



10月1日

国勢調査

秋田に住む一人として、日本に住む一人として、自己申告をお願いします。

新たな世紀の基礎づくりとなります

日本で最初に国勢調査が行われたのは、今から八十年前の一九二〇年（大正九年）のことでした。以来、おおむね五年ごとに実施され、今回で十七回目を迎えます。

国勢調査は、単に人口を調べるためだけに行われるものではありません。

いま日本は、少子化や高齢化が急ピッチで進んでいます。これらに対応するため、国勢調査の結果は住宅、福祉、交通、雇用面など、さまざまな分野で利用されます。

調査員が調査票を持ってうかがいます

まず、九月下旬に調査員がみなさんのお宅にうかがい、世帯ごとに調査票をお配りします。調査票が届いたら、「調査票の記入のしかた」をよく読んで、

人?十?百?

あなたのは何をうめる?

国勢調査Q&A

調査員はどんな人なの?

調査票を配布・回収する国勢調査員は、秋田市長の推薦により総務庁長官が任命する、非常勤の国家公務員です。

どうしても答えなければいけないの?

もしも、調査票が提出されなかったり、正しい申告がされなかったりすると、誤った統計になってしまいます。そうしたことを防ぐため、「統計法」という法律で、申告義務について規定しています。つまり、国勢調査に参加することは、私たちの義務の一つなのです。

プライバシーは守られるの?

調査をする人が、調査の結果を他人にもらしたり、統計をつくる目的以外に調査票を使ったりする事は、法律で固く禁じられています。また、調査票は部外の人目の目に触れないよう厳重に保管され、集計後はすべて溶かして再生紙として生まれ変わります。調査票に書かれたことが、もれることはありません。ご安心ください。

調査結果はいつ分かるの?

人口・世帯数の速報は、二〇〇〇年十二月に発表されます。その他の集計結果は、二〇〇一年以降、順次公表されます。結果をまとめた報告書は、秋田市企画調整課調査統計担当や図書館などで閲覧できます。また、総務庁統計局・統計センターのホームページ（<http://www.stat.go.jp>）でも見る事ができます。